

平成 28 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 代表者名 代表取締役会長 西川 浩司
 (コード：5742、東証JASDAQスタンダード)
 問合せ先 執行役員管理部長 藤井 透
 (TEL. 076-425-0738)

平成 29 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 9 日に公表いたしました「平成 28 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、平成 29 年 3 月期の業績予想を未定としておりましたが、下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 9 月 30 日)

	連結売上高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株式 に帰属する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)					
今 回 修 正 予 想 (B)	3,362	268	265	176	32.34
増 減 額 (B - A)					
増 減 率 (%)					
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	2,871	238	238	153	28.19

(2) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株式 に帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)					
今 回 修 正 予 想 (B)	6,776	577	582	367	67.41
増 減 額 (B - A)					
増 減 率 (%)					
(ご参考)前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	6,176	563	565	363	66.73

2. 修正の理由

当社グループは、2016（平成 28）年度から 2020（平成 32）年度までの5 ヶ年を期間とする中長期経営計画において、その最終連結会計年度における売上高・事業の規模を倍増する計画であります。

この計画に基づき、当連結会計年度を「倍増計画元年」と位置づけ、企業の投資や雇用促進に関する政府の諸施策の追加実施等が見込まれる環境下で、当社が株式を上場して以来、最大となる大型設備投資を計画しております。

その第1弾として平成 28 年 6 月 1 日付「海外子会社の増資に関するお知らせ」のとおり、今後、大きな成長が見込まれる A S E A N 地域の生産設備等の「自動化の波」にお応えすべく、更なる事業拡大に向けての機械設備拡充及び資本の充実と財務基盤強化を図ることを目的に、海外子会社への増資〔増資額：6 千万タイバツ（平成 28 年 3 月 31 日現在の為替相場による円換算額：191 百万円）〕を決定いたしました。

更に第2弾として平成 28 年 6 月 16 日付「固定資産の取得（新工場建設）に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、今後、IoT（Internet of Things/モノのインターネット）時代を見据え、業務及び生産の効率化、集約化を図り、特に F A 装置等の更なる受注拡大を目指す重要な拠点として機能させることを目的に、用地の取得及び新工場の建設（投資総額：約 850 百万円）を決定いたしました。

以上の諸施策の実施に伴う発生費用額等と、それらが業績に与える影響の精査に若干の時間を要するため、当連結会計年度の業績予想数値は未定としておりましたが、今般、それらを織り込んだ業績予想数値を取り纏めましたので公表することといたしました。

当連結会計年度におけるアルファフレーム部門の業績は、「カクチャ[™]」及び「マーキングシステム[™]」を活用することによって、一般の材料・部品の販売は堅調に推移する見通しであり、継続受注となっている F A 装置（F A：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件も、需要の拡大を受けて売上高は大幅に伸長する見込みであります。

装置部門においては、F A 装置、ロボット関連機器及びクリーン装置関連が堅調に推移する見通しがあります。特に自動車部品製造企業向けの洗浄装置や検査装置については、多方面のお客様より引き合いをいただいております、一層の受注拡大が見込まれております。

また、クリーン装置関連でも、有機 E L や L C D といったフラットパネルディスプレイ製造企業向けの大型カスタムクリーンブース等は、当初予測を上回る引き合いをいただいております。

これらの結果、平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想数値については、売上高が前連結会計年度比 9.7% 増の 6,776 百万円、各利益も当社が株式を上場して以来、最高益となった前連結会計年度を上回る見通しであります。

（注）上記に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上